



2023年12月15日

各 位

上場会社名 双信電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山雅彦
(コード番号 6938 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営推進本部長 中西 港二
(TEL 03-5730-4500)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年7月31日に公表した業績予想および配当予想を修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年12月期通期連結業績予想の修正(2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,800	300	330	110	6.43
今回修正予想(B)	11,650	300	330	50	2.92
増減額(B-A)	△150	0	0	△60	—
増減率(%)	△1.3	—	—	△54.5	—
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期通期)	9,503	411	512	35	2.10

(注)前期は決算期を変更したため、前期実績は2022年4月1日から2022年12月31日の9カ月間の数値

2. 業績予想の修正理由

売上高は、半導体不足の緩和により回復基調にある車載市場向けの厚膜印刷基板が増加し、サプライヤーからの部材供給が再開した鉄道インフラ用LCフィルタは堅調に推移する見通しですが、北米での金融引締めの影響等による通信インフラ投資の停滞により、新規格Wi-Fiや第5世代移動通信システム向けの積層誘電体フィルタが減少するほか、半導体製造装置メーカーの生産調整などによりノイズフィルタも減少する見通しであることから、全体で前回発表予想を下回る見通しです。

営業利益、経常利益は売上高の減少影響はあるものの、品種構成変化や歩留改善などのコストダウン効果により前回発表予想と同額になる見通しです。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、今後の市況見通しに基づく業績動向等を勘案して現時点での将来の課税所得を保守的に見積もり、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額に計上することにより前回発表予想を下回る見通しです。

3. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2023年7月31日発表)		4円	8円
今回修正予想		2円	6円
当期実績	4円		
(ご参考) 前期実績(2022年12月期)	5円	2円	7円

4. 配当予想の修正理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、着実に利益を確保し財務体質を強化するとともに、今後の業績動向や事業展開などを総合的に勘案した安定配当の実現を配当の基本方針としています。

この方針に基づき期末配当金は、業績予想の修正に伴い前回予想に比べて1株当たり2円減配の2円とし、通期で1株当たり6円とさせていただきます。

早期の業績回復を目指し努力して参りますので、株主の皆様のご理解を賜りたくお願い申し上げます。

(注記)

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

以上